Midnight Press

新刊のお知らせ　2011年 夏

『真・将門記　桔梗一輪捧げ申し候』
著者　山本かずこ
四六判上製　234ページ
発行　2011年7月10日
定価　1785円（税込）
発行　ミッドナイト・プレス
発売　星雲社
ISBN 978-4-434-15556-7

将門から、いまを生きる人たちへ

平　将門

人は大地とつながって生きていることを忘れないでほしい。いまの人は、人がつくったもののなかに埋もれて、根を忘れている。

人は鳥のように飛べるわけでもなく、魚のように泳げるわけでもない。大地に感謝を忘れずに生きてほしい。

そして、人はみな友だということを身をもって知りなさい。ささいなことでも、ともに泣き笑い、歌って踊る。そういう人の子の世を生きるよろこびを、いつも腹の底から涌き起こしてほしい。

偽りの歴史ではなく、
真の歴史こそが、
いま、私たちの
生きる力になる――――。

小説『真・将門記　桔梗一輪捧げ申し候』は、平安時代の武将、平将門の戦闘の記録『将門記』を基に、真（まこと）の将門の姿をいまの世に伝える真実の書です。「生き延びよ！　そなただけでも生き延びねばならぬ！　生きて、いつの日か我らが真を伝えねばならぬ！」と弟・将文に托した将門の言葉が、平成のいまの世にも聞こえてきます。将門の真実の声が読者の魂に届くことを願って刊行いたします。ぜひ、お読みいただき、広くご紹介いただければありがたく存じます。

●いくつもの真実が、明らかになる。
□父の死、母の死の真実□伯父たちから命を狙われたことの真実□妻、桔梗の真実□残党狩りの真実□弟、平将文だけが生き延びたことの真実□会津、相馬野馬追の真実□私君、藤原忠平の真実□託された『将門記』の真実□平将門の真実、ほか

著者紹介　高知市に生まれる。詩集に『渡月橋まで』『思い出さないこと　忘れないこと』『いちどにどこにでも』（以上、ミッドナイト・プレス）、『リバーサイドホテル』（マガジンハウス）ほか、多数。エッセイ集に『日日草』（北冬舎）、山本小月の筆名で『魂は死なない、という考え方』（ミッドナイト・プレス）

Midnight Press
351-0101 埼玉県和光市白子 3-19-7-7002
TEL048-466-3779　FAX048-466-5838
http://www.midnightpress.co.jp/